

学校の教育目標

「学ぶ喜び 集う喜び 伸びる喜びをつかむ子」

目指す学校像

笑顔いっぱい！元気いっぱい！力いっぱい！
一人一人の児童のよさが最大限に発揮できる学校

《児童像》

- ・ しっかり聞く子（人を大切にする子）
- ・ じっくり考える子（心を大切にする子）
- ・ はっきり話す子（自分を大切にする子）
- ・ 力を合わせて活動する子
（人との関わりを大切にする子）

《教師像》

- ・ 児童を理解し、最良な人的環境となれるようにかかわる教師
- ・ 指導方法と計画・評価、環境整備等を工夫改善して、着実に学習・生活指導を行う教師
- ・ 学校組織の一員として協力・協働して取り組む教師

学校経営の基本方針

1 「かかわり」を重視した教育活動の充実を図る

- ①児童と児童の「かかわり」を中心とした豊かな学び合いの充実
 - ・ タブレットPCを活用した学び合い（リモート発表会、スライドやジャムボードの活用）
 - ・ 兄弟学級を中心とした異学年交流を継続的に実施する。
- ②児童と教師の「かかわり」の活性化
 - ・ 学級担任が交換授業を各学期で実施する。
- ③家庭・地域との「かかわり」を生かした教育活動の充実
 - ・ タブレットPCを活用した家庭学習の推進と情報提供等
 - ・ 地域財を生かした連携授業の推進
- ④教職員間の豊かな「かかわり」から授業力、組織力の向上を目指す。
 - ・ 校内研究、校内研修の充実（OJT研修、授業公開等）



2 「整える」を重視した学習規律及び生活規律の徹底を図る

- ①学習規律を整える。
 - 学校全体で統一した学習規律を作成し、全学級で取り組む。
（挨拶返事・敬意拝聴・机上整理等）
- ②生活規律を整える。
 - 挨拶や言葉遣い、生活規律についての指導を全校朝会や学年・学級で定期的に行う。
- ③いじめをしない、させない集団づくりを行うとともに、差別や偏見をもたせない学年・学級経営を行う。

3 校内体制・健康管理・サービス意識を整える

- ①児童虐待防止に向け、校内特別委員会を通し、全教職員で情報を共有し、課題に対して組織的即時的対応を行う。
- ②児童の食物アレルギーについて、保護者との連絡を密にして、細心の注意を払い、事故ゼロの意識を徹底させていく。
- ③毎月2回、夕会の時間に人権研修（あったか先生研修）を実施し、都や市の人権資料や人権教育プログラムの活用を進める。
- ④毎週木曜日の職員朝会で、ミニサービス研修「ふくむ120」を実施し、日直のサービススピーチを通して、サービス防止の日常化に努める。